

# Symphonic Orchestra in Tokyo, 2019 札幌交響楽団 東京公演 2019



© Yasuo Fujii

2019年1月30日(水)  
19:00開演 / 18:30開場  
サントリーホール  
東京都港区赤坂1-13-1  
Wednesday, January 30, 2019, 7 p.m.  
at Suntory Hall

指揮：マティアス・バーメルト  
Matthias Bamert, Chief Conductor



© Yasuo Fujii



ピアノ：岡田 奏  
Kana Okada, piano

**モーツァルト**  
セレナーデ・ノットウルナ  
(セレナーデ第6番二長調)  
Mozart : Serenade No. 6 in D major K. 239  
"Serenata Notturna"

**ベートーヴェン**  
ピアノ協奏曲第4番ト長調  
Beethoven : Piano Concerto No. 4  
in G major op. 58

**ブラームス**  
交響曲第2番二長調  
Brahms : Symphony No. 2 in D major op. 73

チケット料金 全席指定・消費税込  
**S 6,000円 A 5,000円**  
**B 4,000円 C 3,000円**

※シルバー券 65歳以上S席、A席から1,000円引き  
カジモト・イープラスのみ取扱い  
※ご購入方法によって手数料などが加算される場合がございます。

チケット取り扱い  
カジモト・イープラス ☎0570-06-9960 <http://kajimotoeplus.com/>  
チケットぴあ ☎0570-02-9999 (Pコード127-177)  
e+(イープラス) <http://eplus.jp>  
ローソンチケット ☎0570-000-407 (Lコード35264)  
サントリーホールチケットセンター ☎0570-55-0017  
都響ガイド ☎0570-056-057 <http://www.tmsu.or.jp>

主催 公益財団法人 札幌交響楽団  
マネジメント KAJIMOTO  
協賛 ホクレン  
協力 JAPAN AIRLINES  
公益財団法人 東京都交響楽団  
パシフィック・コンサート・マネジメント  
助成 文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)  
文化庁 独立行政法人日本芸術文化振興会

お問い合わせ  
カジモト・イープラス ☎0570-06-9960  
札幌交響楽団 ☎011-520-1771  
[www.sso.or.jp](http://www.sso.or.jp)

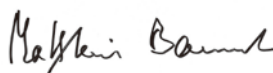


# Sapporo Symphony Orchestra in Tokyo, 2019

2019年の「札幌交響楽団東京公演」を、首席指揮者に就任したばかりの  
スイスの名指揮者マティアス・バーメルトの指揮のもと、1月に開催いたします。  
北海道出身の注目の新進ピアニスト岡田奏をソリストに迎えるベートーヴェンに、  
モーツァルトとブラームスを組み合わせた堂々たるプログラムで、新時代の札幌のお披露目です。  
「北海道」命名150年の記念年であり、かつ、試練の年ともなった2018年を越え、  
この演奏会で私たちは、変わることない北の大地の豊かさ、美しさを音楽とともにお届けいたします。  
ご来場のみなさまの心が満ち足りたものとなりますように。

“私たちに音楽があります、音楽を生み出すことができ、  
その音楽には多くの傷を癒す力があるはず”

—— マティアス・バーメルト



## マティアス・バーメルト 首席指揮者

Matthias Bamert, *Chief Conductor*



2018年4月に札幌交響楽団首席指揮者に就任した  
バーメルトは、母国スイスとダルムシュタット、パリで音楽を  
学び、作曲をビエール・ブーレーズとカールハインツ・シュトック  
ハウゼンに師事した。ザルツブルク・モーツァルト管弦楽団の  
首席オーボエ奏者を務めた後で、指揮者に転向。指揮者としてのキャリアは  
アメリカでジョージ・セルに師事することから始まり、レオポルド・ストコフスキーの  
助手を、さらにロリン・マゼールが音楽監督をしていたクリーヴランド管弦楽団で  
正指揮者を務めた。

これまでにバーゼル響、ロンドン・モーツァルト・プレイヤーズ、西オーストラリア響、  
マレーシア・フィルの音楽監督等を歴任。また、ロイヤル・スコティッシュ・  
ナショナル管、ニュージーランド響、韓国テジョン・フィルの首席客演指揮者、  
ロンドンのロイヤル・フィルの副客演指揮者、グラスゴウの現代音楽フェスティバル  
「ムジカ・ノヴァ」、ルツェルン音楽祭の監督を務めた。

英国ではフィルハーモニア管、BBC響、ロンドン・フィル、バーミンガム市響、BBC  
フィルをしばしば演奏会や録音のために指揮、BBCプロムスにも頻繁に  
出演。そのほかクリーヴランド管、ピッツバーグ響、ロサンゼルス・フィル、パリ管、  
モントリオール響、レニングラード・フィル、シドニー響、N響など世界各地の  
オーケストラに登場している。CDの録音もこれまでに80以上あり、それらは数々  
の国際的な賞を受賞している。

## 岡田 奏 ピアノ

Kana Okada, *piano*



北海道函館市生まれ。15歳で渡仏。パリ国立高等音  
楽院のピアノ科と室内楽科を最優秀で卒業、修士課程を  
最優秀で修了し、第3課程アーティスト・ディプロマ科を経て、  
ヨーロッパと日本を拠点に活動している。

これまでに、ベルギー国立管、シモン・ボリバル響、東京フィル、東響、京都市響、  
名古屋フィル、仙台フィル、兵庫芸術文化センター管、中部フィルなどのオーケストラ  
と、マリン・オールソップ、ポール・メイエ、ヘルムート・ライヒェル・シルヴァ、  
クリスティーナ・ボスカ、小林研一郎、広上淳一、山下一史、大井剛史、円光寺  
雅彦、三ツ橋敬子らの指揮者と共演。札幌とは2018年に初共演、2019年に札幌、  
小樽、苫小牧、東京で共演を予定している。音楽祭への出演も多く、アンス  
ケフェレックが芸術監督を務めるサントンジュ・ピアノ・フェスティバルのほか、ラ  
フォル・ジュルネなど、いずれも好評を博す。また、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」  
および「きらクラ!」をはじめメディアへの出演も多数行う。

2013年第8回ブーランク国際ピアノ・コンクール第1位、同年第12回ピアノ・  
キャンパス国際コンクール第1位のほか、2016年エリザベト王妃国際音楽  
コンクールのファイナリスト。ピアノを加茂和子、植田克己、上田晴子、ジョルジュ  
ブルーデルマッハー、フランク・ブラレイらに、室内楽をクレール・デゼール、  
イタマル・ゴラン、ブルーノ・バスキエらに師事。一般財団法人地域創造による  
公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）平成30・31年度登録アーティスト。

## 札幌交響楽団 Sapporo Symphony Orchestra

1961年に発足、北海道唯一のプロ・オーケストラとして、「札幌」の愛称で親しまれている。透明感のあるサウンドとパワフルな表現力は雄大な北海道にふさわしい  
オーケストラとして広く知られている。歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴァルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマーなどが  
務めた。首席指揮者としてマティアス・バーメルトが2018年4月に就任、そのほか、名誉音楽監督の尾高忠明、名誉指揮者のラドミル・エリシュカ、友情客演指揮者の  
広上淳一、さらに指揮者として佐藤俊太郎と垣内悠希を擁する。年に約120回のオーケストラ・コンサートを行うほか、積極的に地域活動に参加、年に約50回の小編成  
での教育福祉活動を道内各地で展開している。海外公演はこれまでに、アメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問し、各地で好評を博した。レコーディング  
にも積極的で、ボンマーとのバッハ、尾高とのシベリウス、ペーター・ヴェン、エリシュカとのドヴォルジャーク、ブラームス、チャイコフスキーなど、いずれも専門誌、新聞等で  
高い評価を得ている。

公式ホームページ [www.sso.or.jp](http://www.sso.or.jp)

